

Electronic Police Siren Kit

KWA100 & KWA100D

100
Watts



KWA100 & KWA100D

The Electronic 100 watts Police Siren Kit

■ 目次	2
■ これが KWA 専用 100 Watts System だ	3
■ カリフォルニア・ハイウェイ・パトロール隊	4
■ ブラック・ボックス設置位置の決定	5
■ 配線の完成事前準備	6
■ 車両の工場出荷時に装備されている配線	7
■ ラウンドスピーカーの搭載	10
■ サイレンシステムのテスト	11
■ P A マイクロホンのテスト	11
■ 仕様関係 / Dimension and Specifications	12

本邦初公開

■これが KWA 専用 100 Watts System だ・・・

ユニトロール社製汎用80Kアンプをベースに Kawasaki Police Motorcycle 専用システム化された80KMはFederal Signal社より供給されます。既に 100.000 台以上の Kawasaki Police Motorcycle に搭載され、名実ともに KAWA 専用アンプといえは 80KM を指す時代となりました。

間もなく創業100周年を迎えようとする Federal Signal社は キャパシテイ 58 Watt s の時代から今日の 100 Watts / PA500 Mを軸に構成された Police Motorcycle 汎用サイレン・キットを継続して供給しており、Harley Davidson の指定純正部品としても長期に亘ってその主流を占めていました。

DYNAMAX



歴史的に観て、タイヤの回転力を利用して音を造り出した時代を踏まえ、後に電気・電子回路製品として完成される過程で、ユニトロール社を傘下に組み入れた時代から明確に Kawasaki Police Motorcycle 専用として専属化が確定した感があります。

California Highway Patrol

■ カリフォルニア・ハイウェイ・パトロール隊

BMW社の車輛が警察で採用される事、欧州では当然の事でしょう。しかしアメリカ本土で California Highway Patrol 隊が BMW K-Series を Police Motorcycle として抜擢、採用開始するにいたって、かつて Harley Davidson が Kawasaki にシェアを明渡し、その Kawasaki のシェアへ新しく食込んで行く BMW への導入路上で、熟練したメカニック、知り尽くしたテクニシャンによって Kawasaki Police Motorcycle の為に身近に用意されていた保守・補修部品でもある 80KM を手始めに搭載テストがなされたとしても



至極当然の話と言えるだろう。したがって 80KM 及び PA500M は 今後の BMW に採用されて行く過程にある現在、改良の第一歩として BMW では Speaker を覆面パトカーでは必需品となっている超小型・高性能スピーカー DYNAMAX の採用で定着する様子も伺え、今後の楽しみと言ったところでもある。

California Highway Patrol ヘリンク

■ ブラック・ボックス設置位置の決定

① ブラック・ボックスは「防滴仕様」となっていませんが、通常サドルバッグ左側に搭載します。ブラック・ボックスの固定にはボルト・ナット類及び設置場所によってはタッピング・スクリューを使用する事も予想されます。車輦本体の配線類にダメージを与える事が無い様に設置場所の選択・決定は十分な配慮を持って行って下さい。

② ブラックボックスにはシステム・コントロール用のスイッチ関係は一切組み込まれていませんが、後部にフューズ・ボックス（20Amp）があります。将来のフューズ交換作業を考慮してしかるべく設定位置を確定してください。

80MK Black Box



③ ブラックボックスを固定する、その裏側は大丈夫ですか？ 主要な配線類をいためるような事はありませんか？ 車載収納ケース、ラジオボックスあるいはサドル・バックの中で、日常点検が容易な場所である事が必要です。



不注意な取り扱い
は聴力障害を引き
起こします。

■ 配線の完成事前準備

- ① 他製品との安易な組み合わせは製品各部で損傷が発生する可能性があります。ブラックボックスとスピーカーのセットは必ず当社がセットとして供給した製品の組み合わせで搭載してください。KWA100 あるいはKWA100Dの二種類がありますが何れも 100 Watts サイレン・システム最新版です。
- ② このような理由から、補修部品としてのブラックボックス及びスピーカーの単体供給は致しておりませんので御了承ください。 補修部品を必要とされる場合は遠慮なく別途ご相談下さい。現在お手元のブラックボックスあるいはスピーカーと問題なく動作する補修部品を確認の上必要であればこれらを確保輸入致します。
- ③ KAWA100 / KAWA100D をコントロールするには全てを本車輦上に用意されたコントロールボタン、レバースイッチを使用しますので、本車輦上の配線類を探し出し確保する事から始めます。
- ④ ブラックボックス正面に 12 ピン・コネクタ、それから配線を経由して 3 ピン・コネクタが用意されています。 それぞれに完成供給されたコネクタをグリスを塗って合体・結線して下さい。 以下はこれら配線との接続についてライン色で確認しながら作業を行って下さい。

■ 車両の工場出荷時に装備されている配線

車輛左側のタンク下部あるいはサイドカバーを取り外して80MKシステム搭載用に準備されている配線を確認します。

① メインスイッチを経由した電源と車体アース関係

○ レッド 赤 → 赤と接続

○ ブラック 黒 → 黒と接続

■ 作業中に他のラインがショートする事が予想されますので、これら電源関係は一番最後に結線してください。この状態で本車輛のメインスイッチを入れた時点でサイレン・システムはスタンバイ状態を迎えますが、レバースイッチ（2個同梱の内1個を使用して）で新たにサイレン・システムへの電源供給スイッチを用意される事をお奨めいたします。

② Wail 音発生用ライン

○ ホワイト 白 2本 → 白 2本と接続

あるいは（年式によっては；）

○ ピンク 桃 2本 → 白 2本と接続

□ この延長線上に本車両上のレバー又はボタンスイッチがあるはずです。

③ Yelp 音発生用ライン

○ イエロー 黄 2本 → 黄 2本と接続

□ この延長線上に本車両上のレバー又はボタンスイッチがあるはずです。

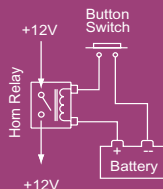
④ スピーカーとの接続は

○ ブラウン (茶) と ○ ブラウン・ホワイト (茶・白) の2本をスピーカーの両端子へ接続します。通常スピーカーとの結線に対してプラス、マイナスの極性はどちらでもかまいません。

⑤ Air Horn を完成する。

ブラックボックスから出る3ピン・コネクタを経由して延長された黄色ラインにAir Hornとプリントされたラインを車輛電源部プラスと接続する事によって、Air Horn 音を発生させる事が出来ます。

□ 純正車両搭載のホーンを使用しない場合には現在のホーンへの配線をカットして、別途リレーをご用意の上、押しボタンを押した時点で上記「黄色にAir Horn」とプリントされたラインと接続できる回路を準備して下さい。但しこの場合サイレン装置への電源回路が切断してある場合及びサイレンシステムが何らかの理由で動作状態に無い場合にはAir Horn による警告音は使用できません。



□ 同梱されているレバースイッチを（２個同梱の内１個を使用して）上記の「黄色に Air Horn」とプリントされているラインと車輛電源部プラスと接続している回路を準備する事で Air Horn をご利用になる事が出来ます（搭載時初期のお勧め方式です）。この方式であれば既存純正ホーンは従来通りに作動しますので戸惑う事はありません。

⑥ マイクロホンジャックとの接続について

上記①－⑥で使したライン以外で、ブラックボックスの正面中心部に位置する１２ピン・コネクターから延長されるラインは、約１０センチ弱の以下の４本が残ります。

- | | |
|----------|---|
| ○ イエロー | 黄 |
| ○ ブルー | 青 |
| ○ グレイ | 灰 |
| ○ バイオレット | 紫 |

これらを確認の上コクピットに設置してあるマイクロホン・ジャックから出る上記と同色のライン同士を結線してください。

（註）まれにコクピットに設置されている筈のマイクロホン・ジャックが何らかの理由で取り外されている事があります。これらの状況をカバーする為マイクロホンジャックの同梱を開始しました。万一マイクロホンジャック



が見当たらない場合には、各自でこの装置を完成させてください。

⑦ 残りの配線確認

ブラック・ボックス左寄から出るラインの内3ピンコネクタに接続されるライン以外に

- ブルー 青
- イエロー 黄 (Alarm のプリントがある黄色ライン)

上記の2本はモーターサイクル・80MKでは使用しませんのでショートしないように処理してください。

■ ラウンドスピーカーの搭載

スピーカーは左写真の通りL型ブラケット付で供給されます。搭載場所によってはサイレンドライバー後部からの補強ブラケットをご用意ください。

以上で搭載は終わります。



■ サイレンスシステムのテスト

- ① 準備したWail 用レバー又はボタン・スイッチを押してWail 音が発生される事を確認してください。
 - ② 準備したYelp 用レバー又はボタン・スイッチを押してYelp 音が発生される事を確認してください。
 - ③ 準備したAir Horn 用レバー又はボタン・スイッチを押してAir Horn 音が発生される事を確認してください。
- ①ー③のうちで、予期する音が出ない場合は配線の再確認が必要です。

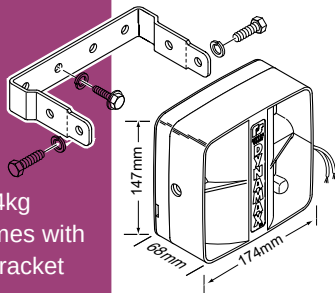
■ P A マイクロホンのテスト

パブリック・アドレスへはマイクロホンのグリップ・スイッチで入る事が出来ます。握った状態でON、マイクロホンからの音声はスピーカーから発生させる事が出来ます。放せばOFF状態です。

警告音 WailやYelpの発生中であってもこのP Aが優先されます。警告音発生中にマイクロホン・グリップ・スイッチを握った時点で警告音は消えマイクロホン音声スピーカーから流れますが、放した状態で元の警告音発生状態に戻ります。P Aはその必要性からどのような使用状況からでも復帰・最優先されます。

DYNAMAX

2.54kg
Comes with
U Bracket



■ Dimension and Specifications



● ダイナマックスの塗色は黒のみとなります



KWA100



KWA100D



FEDERAL SIGNAL CORPORATION
Emergency Products Division
Police Marketing

- 仕様は断り無く変更することがあります。
- ご不明の点は下記宛にお問い合わせ下さい。

145-0062 東京都大田区北千束3-35-2
株式会社 ミニオン・インコーポレティッド
Tel. 03-3726-4321 Fax. 03-3726-4324



127 x 124 x 87 (mm)
Weight: 1.65Kg